

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	自動登録／国語科教育法b (Teaching Methods: Japanese Language b)		
担当者名 (Instructor)	渡辺 哲男(WATANABE TETSUO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	EDU3700	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

#### 授業の目標 (Course Objectives)

小学校国語科における授業の目標や内容を理解し、学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身につける。

Students will understand class objectives and content of elementary school Japanese classes, and become competent with arranging classes appropriate to various specific learning settings based on learning instruction theory.

#### 授業の内容 (Course Contents)

前半は、小学校学習指導要領に示された国語科の目標や内容、国語科の背景となる学問領域との関係を理解する。後半は学習指導案作りのポイントを学んだ後、指導案を作成し模擬授業に取り組む。模擬授業を行った翌週はリフレクションを行い、授業改善のための視点を身につける。その際の集団による考察・議論・発表などには主体的に臨む。

In the first half of the class, students will understand the relationships between the objectives and content of Japanese language class, which are described in the elementary school curriculum guidelines, and the academic discipline behind Japanese classes. In the second half of the class, after students have learned the class planning method points, they will carry out mock classes they have planned. The week after the mock classes are conducted, students will reflect and become familiar with perspectives regarding class improvement. The group consideration, discussion and presentations at that time will be examined subjectively.

#### 授業計画 (Course Schedule)

1. オリエンテーション
2. 学習指導要領における国語科の目標と内容、全体構造の理解と批判的検討
3. 学習者の実態を視野に入れた授業づくりと国語科授業の評価
4. 国語科の背景となる学問領域との関係、学習指導案作成のポイント
5. 模擬授業(1:低学年文学教材)とそのリフレクション
6. 模擬授業(2:中学年文学教材)とそのリフレクション
7. 模擬授業(3:高学年文学教材)とそのリフレクション
8. 模擬授業(4:低学年説明文教材)とそのリフレクション
9. 模擬授業(5:中学年説明文教材)とそのリフレクション
10. 模擬授業(6:高学年説明文教材)とそのリフレクション
11. 模擬授業(7:その他の言語事項など)とそのリフレクション
12. 模擬授業(8:その他の言語事項など)とそのリフレクション
13. 国語科授業における情報機器の効果的な活用、書写指導のポイント
14. 授業のまとめ

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

模擬授業担当回の学習指導案提出は必須。児童役の学生も当該教材を事前に読み込んでおくこと。自分ならばどう授業するかをイメージして授業に臨むこと。授業終了後はリフレクションペーパーを記入してもらう。

#### 成績評価方法・基準 (Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(50%)/授業中、前後に提出する課題(50%)  
欠席が4回になった時点でD評価となる。出席と平常点については初回の授業で詳細を説明する。

#### テキスト (Textbooks)

1. 文部科学省、2018、『小学校学習指導要領解説 国語編』、東洋館出版社 (ISBN:9784491034621)
- テキストは必ず購入のこと。

#### 参考文献 (Readings)

1. 澤本和子・授業リフレクション研究会編、2016、『国語科授業研究の展開』、東洋館出版社 (ISBN:9784491032023)
2. 森山卓郎編著、2016、『コンパクトに書く国語科授業モデル：書けない子も書けるようになる!』、明治図書

(ISBN:9784182214257)

3. 渡辺哲男ほか編、2019、『言葉とアートをつなぐ教育思想』、晃洋書房 (ISBN:9784771031623)

その他の参考文献は授業中に紹介する。

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)